

公立阿伎留医療センターは、医の心を重んじ、患者の皆様とともに生命と健康を考える医療を実践します

## 地域医療連携室ニュース

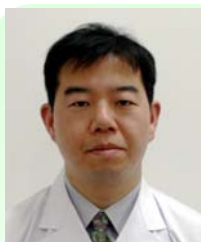
発行 公立阿伎留医療センター  
編集 地域医療連携室  
TEL 042 (558) 0321  
FAX 042 (550) 5190



### 連携室よりあいさつ

当院は、急性、亜急性期疾患を担う中核病院として、また緩和医療や回復期医療を近隣医療施設との密接な連携を保ち住民と病む人が満足し安心、安全、かつ納得の頂ける質の高い医療サービスを提供する医療センターを目指しております。

今月の専門外来シリーズは、『リハビリテーション科より補装具外来について』岡田真明先生がご説明いたします。



リハビリテーション科部長  
岡田 真明

### 今月のトピックス

### 『リハビリテーション科より補装具外来のご案内』

補装具とは、失われた身体機能を補完又は代償するために使われる用具のことです。補装具には装具や義足・義手、車いす、杖もこれに含まれます。

- |               |                             |
|---------------|-----------------------------|
| ・歩行補助具(杖や歩行器) | 上手に杖を使っていますか？               |
| ・車椅子          | 車椅子は体に合っていますか？床ずれはできていませんか？ |
| ・装具           | 足の装具を工夫すれば、歩き方が良くなるかもしれません。 |
| ・義肢（義手・義足）    | 歩きづらくないですか？断端はきれいですか？       |

これらには、健康保険の適応となるもの、介護保険でレンタルになるもの、あるいは他の公費の補助になるものなど様々なものが含まれます。

上肢装具・下肢装具・体幹装具などの装具、義手・義足、杖・歩行器などの歩行補助具、車椅子、座位保持装置など身体機能障害を改善し機能を代償する適切な補装具を処方し作製します。医療保険・身体障害者福祉法・介護保険による対応を行います。

補装具は作ってしまえばおしまい、というものではありません。患者様によっては、補装具と長い付き合いとなることもあります。他院で作製してうまくいかなかった方も、是非、ご相談ください。

**受診を希望される場合は**、まずは「リハビリテーション科(一般外来)」を受診してください。当院には現在、吉田義肢(月・木曜)、相模原ブレース(水曜午前)の二社が定期的に来院し、装具の作製を行っております。車椅子、座位保持装置の業者は必要時来院して採型、仮合わせなどを行う体制ですので、事前にご希望を電話でお知らせ頂けると大変助かります。

## 当科で取り扱う短下肢装具(一例です。この他にもご相談に応じます)



オルトトップAFO



プラスチックAFO  
(靴べら型)



プラスチックAFO  
(足継手付き)



プラスチックAFO  
(湯の児式)

## 2月の医局学術講演会

- 日時 : 平成2月27日(月) 19時30分  
場所 : 地下1階 講堂  
テーマ : 研修医報告 『CPC』タイトル未定(心アミロイドーシス関連)  
主治医 : 研修医 吉野明博  
討論者・司会 : 循環器科部長 檜田光夫

## 12月の紹介患者数と画像検査数をご報告致します

FAX による紹介患者は113人、また紹介状持参による紹介患者は315人、合計428人でした。  
CT・MRI の画像検査の FAX 紹介は44人でした。ご紹介誠にありがとうございました。  
なお、FAX の申込時間は、『FAX 受診申込書』で、9時から16時30分になっております。

## 地域医療連携室より

今、認知症の患者さんがふえてます。東京法規出版より **穏やかな暮らしのため** 『認知症の高齢者のための介護ガイド』があります。必要な方は地域医療連携室にご一報ください。

公立阿伎留医療センター宛専用の「診療情報提供書」、「紹介状封筒」用意しております。  
ご利用の際には、ご連絡をお願いいたします。尚、地域医療連携に関するお問い合わせについても、お受けいたしますのでご連絡下さい。地域医療連携室 責任者:茅野和子

電話番号 042-558-0321 内線2123 FAX番号 042-550-5190

